

セグロウリミバエの村内確認地点の増加

寄生対象であるウリ科野菜などの栽培が増える中、セグロウリミバエの村内での寄生確認も増えてきています。農薬散布、袋、ネットがけ等の防除がない中での栽培や収穫できない不要果実が放置された場所で確認されています。

農業資材が高騰する中、対策なしで寄生対象の作物を栽培することは経費がかかるばかりか、作業労力も報われない可能性が高くなります。また、寄生された農産物がそのまま消費者に届くと、今後は販売しにくくなり、売り上げにも直接影響がでできます。

トラップ誘殺の多かった仲泊区での臨時果実調査(5/13実施)では、14地点のうち7地点でセグロウリミバエの寄生が確認されました(トマト、ゴーヤー、キュウリ、パパイア、ズッキーニ、パッションフルーツ、赤モウイ)。

不妊虫の効果が発揮できるためには、野生虫の数を極力減らすことが重要です

経済栽培の方は、移動検査に時間をとられ、対策(農薬散布や袋がけなど)には資材が高騰する中、更なる経費圧迫を強いられています。皆さまのご理解とご協力が必要です。

寄生対象作物の栽培自粛

野菜 ゴーヤー、ヘチマ、トウガン、モウイ、キュウリ、ズッキーニ、カボチャ、さやいんげん、トマト、スイカ
果樹類 パッションフルーツ、ドラゴンフルーツ、パパイア、グアバ、すもも

防除

果実への袋がけ、2mm以下目合いネットでの栽培、農薬散布のいずれかを行う

不要果実・収穫後の適正処分

放置せずに袋などに入れ、密閉処分(可燃ごみ)または20cm以上の土をかぶせて処分



詳しくは、沖縄県ホームページをご確認ください。

検索ワード▶

沖縄県 セグロウリミバエのまん延防止対策



お問い合わせ:農林水産課 ☎966-1202

農業用ハウス資材補助金

台風や病虫害被害軽減の目的で設置または修繕する際に必要なハウス資材費について予算の範囲内で補助金を交付します。

対象者 専業農家、兼業農家であって前年度までの村民税等を滞納していない者

補助率 50%以内(補助上限額あり)とする
※資材税抜き価格×補助率(運搬費、作業人件費、諸経費などは補助対象外)

提出書類 農業用ハウス助成補助金申請書等

申請書配布及び提出先 農林水産課 農林係

お問い合わせ:農林水産課 農林係 ☎966-1202